

市民文教常任委員会会議記録（概要）

令和3年9月15日（水）

開 会（午前9時0分）

【議 事】

○請願第2号「所沢市の小学校図書館に専任で一校一人の学校司書の配置を願う請願」

矢作委員長

請願第2号について、19名の署名が追加されましたので、ご報告いたします。

【参考人の意見】

渡辺参考人

所沢市の中学校では、1993年の市議会での「良好な読書環境の創造を求める意見書」の可決により、翌年から3年間で15校全校に1校一人、専任の学校図書館司書補助員が配置されました。小学校に関しては、2010年、市議会への請願、「所沢市の小学校の学校図書館に専任・専門の学校司書を配置することを願う件」が採択され、翌年から小学校にも学校図書館司書補助員が5校までは1校一人、専任で配置されました。2014年の学校図書館法改正により、学校図書館司書補助員の名称が学校司書に変わりました。しかし、2015年から6年間の間に配置された26校は二校兼務です。全校配置となりましたが、二校兼務では子供たちに十分な環境を整えることはできません。そこで、1校一人、専任の学校司書の配置をさらに進めていただきたいと思います、請願提出に至りました。

資料1をご覧ください。これは所沢市の小中学校を取材して、写真を撮

らせていただいたものをパネルにしたものの写真です。学校図書館は、学校図書館法にも記載されていますが、本との出会いの場であると同時に学びを支える場でもあり、情報を読み取り、選び、それを使いこなす場でもあります。授業に使われることも学校図書館の役割の一つです。それを担うことが学校司書の役割です。

資料2をご覧ください。参考までにできる範囲で調べたことですが、文部科学省は学校図書館に関する施策や方針をこのように出しています。

資料3をご覧ください。これからの学校図書館担当職員に求められる役割・職務及びその資質能力の向上方策等についてです。学校図書館担当職員とは学校司書のことです。学校図書館は読書センター、学習センター、情報センターの役目があることも明記されています。先生方がこのような資料を使って、授業をしたいと思ったときに、資料をいつまでに用意してほしい、あるいはこのような授業に使える資料はありますかと相談できる学校司書がいつもいれば、多角的で、内容の深い授業展開ができます。毎日、学校司書がいる小学校から二校兼務の小学校にかわられた先生から聞いたことですが、本のことを常時相談することや整備する人がいない点で教育格差を痛感している、不均衡を感じるばかりですとのこと。また、どこの学校に通う子供もいつも本と学校司書のいる環境を整えてほしいという声も聞きました。学習指導要領に謳われている主体的、対話的で深い学び、アクティブラーニングの展開には学校司書は必要な存在であると言えます。

資料4をご覧ください。1番困っていることの一つに小学校では図書の時間があり、二校兼務であると週に2日あるいは3日学校へ行くことになるのですが、週2日勤務の学校では、ある学校へ行く曜日が例えば火曜日と木曜日だとすると、月水金に図書の時間があるクラスの子供は1年間全く学校司書と授業で会うことはありません。

請願のもう一つの理由として、子供たちは現在、コロナ禍で学校生活を送っています。これから地球温暖化などの様々な課題に向き合いながら未来に向かって生きていくこととなります。小学校に入学したときから、しっかりと読む力を身につけて、それを土台にして学ぶ力、考える力、創造する力を獲得していく必要があります。保健室に養護教諭がおられ、子供たちの体の成長と心の成長を6年間見守ることと同様、学校図書館に専任の人がいて、全校生徒の言葉の発達を見守ることが学校司書の大事な仕事のひとつだと考えています。養護教諭がもし二校兼務ならば、どのようなことになるか想像していただければ、お分かりになると思います。

もう一つ大事なこととして、学校は全ての子供たちが通うところです。全ての子供たちが平等に本と出会える場だと思っています。家庭で読書に親しめる環境にある子供もいますが、学校でしか本と出会うことのできない子供もいます。子供が本と出会うには橋渡しをする大人がぜひとも必要であると思います。毎日、学校司書がいる学校で、学校へ行く途中で見つけた虫を何という名前だろうと疑問を持って、学校図書館へ行き、学校司書に虫の名前を尋ねたとすれば、学校司書はすぐに答えるわけではなく、ここ

のコーナーにある本で探してみなさいと示します。その子供は自分の力で、本を一冊一冊たどりながら、その虫の名前を見つけたとすると、その見つけたときの喜びはさらに何かもっと知りたいという意欲にもつながっていくと思います。そのような一つひとつの疑問を自分で解決することができる場としても重要な役割があると思っています。何かを調べたいと思って出向き、その場に学校司書がいると疑問を解決する糸口が見つかると思います。先進的な活動をしている県の例として、小学校でしっかりと学校図書館の学びを経験した子供たちが大学生になったときに、基本的な学びが身についていると聞きました。子供の成長はすぐに変化が見えるとは限りませんが、毎日の積み重ねの中で成長していく子供にとって1校に一人の学校司書の配置は重要なことだと思っています。

次に、学校司書の研修も検討願いたいです。毎年、児童書だけでおおよそ3,000点の新しい図書が出版されています。その中から、どの本がこの学校に必要な本かということや、先生に資料を集めてほしいと言われてたけれど、どのような資料があるのかといったことなども日々の研鑽なくては答えることができません。学校司書が常に相談できる窓口があるのもっとよいのですが、ひとまず市内のどこかの学校図書館を使って、学校司書同士の定期的な情報交換会を年間計画に入れていただきたいと思います。先生たちや子供たちが探している本を集めるには機械化が必須です。機械化されれば、その本の情報をオンラインで結ぶことにより、学校間や公共図書館とのやり取りもできるようになります。相互貸借をするこ

とで、資料を有効に活用することができます。これらを推進するには、学校図書館支援センター的な核となる人と場所が必要だと思っています。資料5をご覧ください。学校図書館の基本的な考え方が記されており、学校図書館ガイドラインの項目が記載されており、これは2016年に出されています。これは運営上、重要な事項について参考になるように作成されています。

所沢市では、具体的に、あと14人の学校司書を配置していただくと、専任で1校一人の学校司書の配置が完了されます。その予算に関して、資料6の学校図書館整備等5か年計画の学校司書の予算の活用をご検討ください。

【質 疑】

浅野委員

現在、国から地方財政に交付金が出ているとはいえ、交付金の中に混ざっているのも、司書の配置に予算を国から特にこの金額でということではないので、現在は33人いる司書の費用は市の財政で全て行っていることをご存じだと思うが、コロナ禍で教育の問題にオンライン授業をより円滑にしたいとのことでサポーターをつけて、いろんなところに予算が必要とされている。

ニュースなどで拝見したが、代表の方が藤本市長と面談なさっている。市で14人の予算が提出されれば、もちろん市議会として反対しないが、市長と面談しながら改めて市議会にこの請願を提出したところの感触は、市長にこれ以上交渉してもだめだというような判断があって、市議会に請

願を提出したのか。

渡辺参考人

その辺のもろもろの事情もまったく分からないわけではありません。今までそうだったのですが、1年に何人かずつ小学校の学校司書の配置をしてくださっています。所沢市教育委員会の意向や気持ちも分かります。コロナ禍で子供たちは放課後の時間も友達と遊ぶことができない、日記を書くにしても家族と旅行したことは書くことができない以前に家族と旅行することもできません。そのような体験がどうなるのかこの先分からない状況で、例えば本の中でそのような体験をすることも大切なことの一つだと私は思っています。大変な時期であるからこそ、これからの未来を生きる一人一人の子供の考える力、創造する力、学ぶ力を付けていく手立ての一つに、例えばこの子がこの本を読んでいるとして、学校司書が毎日いれば、その子が次に来た時に違う本を読んでもらいたいと勧めるわけではないのですが、その子の目の届くところにその本を置いていくというようなことが毎日いる学校司書であればできることもあります。日々の積み重ねは一朝一夕でできることではないので、少しずつでもよいと思いますが、一人一人の子供に寄り添うことができるとよいので、請願をあえて今提出しました。

浅野委員

14人追加とのことだが、26校に13人だと残りは13人だと思うが14人とは。

渡辺参考人

二校兼務の方は13人ですが、14人のあと一人は松井小学校のことで、松井小学校は公共図書館から配置されている方がいるとのことで、学校司書の研修会が年に3回ぐらい行われているようなのですが、その研修に参加する立場にない方がいらっしゃるので、私たちの思いとしては松井小学校にも学校司書がいて、所沢市の小学校に同じ立場の人が必ず一人はいて、同じ研修を受けて、同じ方向で学校図書館の運営ができるとよいので14人です。

入沢委員

電子図書館はどこかの基礎自治体でやっているとは思いますが、具体的にどのようなシステムか。

渡辺参考人

電子図書館については全く分かりません。

荻野委員

研修について、今回の請願の内容としては小学校図書館に専任で1校一人の司書の配置のことだけでよいのか。研修のことも含めるのか。

渡辺参考人

今回の請願は1校一人専任の学校司書の配置を願うものです。付随して、関係すると思ったので述べさせていただきました。

荻野委員

これまでも教育委員会は段階的に増やしてきた経緯があるが、かつての請願の議論を読み直しても財源にネックがあるようだ。一度に14名配置

できれば理想的だが、一度に配置していただきたいのか。段階的でもやむを得ないのか。

渡辺参考人

私としては一度にとは最初から思っていません。今までも長年活動してきましたが、これから先も全校配置に至るまでずっと活動を続けたいと思っています。少しずつでも入れてほしいのですが、請願としては少しずつとは入れないで、専任で一校一人の学校司書の配置を願う請願としています。

粕谷委員

14人配置すると予算的はどれぐらい必要か認識しているか。

渡辺参考人

具体的な数字は分かりません。かつて学校司書をやっている方から年間一人幾らと聞いています。その14倍だと思っています。

粕谷委員

およそどれぐらいか分かるか。

渡辺参考人

はっきりした数字は分かりませんが、年間80万円と聞いています。

植竹委員

いじめ、不登校、生活困窮、タブレットによるオンライン授業などが市内の小中学校に課題として存在していて、それぞれ予算措置をして、人を充てて対策に励んでいると認識している。限られた財源の中で学校司書を

最優先していただきたいとのことか。

渡辺参考人

最優先というつもりではありません。教育委員会がいろんなことを考えて、何が必要かということを経験していることはもちろん十分によく理解しています。ほかの県の事例ですが、不登校に関して学校司書が毎日学校にいて、すごく面白い授業展開をすると子供たちが生き生きと学校に来ることを聞いたことがあります。山形県鶴岡市の学校では不登校は一人もいないと聞いたことがあります。不登校に関しても、専門の人をつけるという方法もあるかもしれませんが、学校司書を配置して、本を読んでいるいろんなことを想像する力をつけるなど多方面にわたる子供への接し方の一つとして、学校司書も考慮に入れてほしいと願っています。

矢作委員長

この際、委員として質疑したいので、副委員長と交代します。

天野委員

それでは、委員長の職務を行います。

矢作委員

一人一人への支援が大切とのこと、二校配置で不都合なことが示されているが、一校一人となると子供への支援がさらにどのようなことができるか例を示していただきたい。

渡辺参考人

本を読むことが苦手な子供もいると思います。その子供たちが、どのよう

な本をとっかかりに本を読むことができるかということ、毎日子供と接して何年か付き合っていく間にその子にとって、どのようにしたらよいか見えてくるのではないかと考えられることの一つです。

学校によってそろえる本が違います。この地域の子供にとってはこのような本が必要で、別の地域の子供にとってはこのような本が必要ということはそれぞれの学校によって違うと思います。その辺を先生たちと相談しながら、現場にいる先生が子供たちにとって必要な本を補充していくためにも二校兼務では手が回らないこともあると思います。

二校兼務では、図書館だよりも2校分つくることになり、学校にとって必要な本を選ぶことも、それぞれの学校に必要なものを考えて選ばなければいけないので仕事が2倍になることが不便であると思います。

矢作委員

特色ある学校づくりにおいても図書室の役割がさらに有効につながると思うが、埼玉県内の状況は。

渡辺参考人

埼玉県内の状況は具体的には分かりません。上尾市に学校図書館支援センターがある小学校の一角に設置されて、活動していて、昨年度訪問して取材しました。

東京都杉並区はとても先進的な活動をしていることは知っています。

天野副委員長

それでは委員長と交代します。

川辺委員

学校図書館間の本の貸し借りがオンライン化されることにより、理想としては26校の図書館の本をどこの学校の児童でも借りることができるイメージか。

渡辺参考人

学校図書館間の貸し借りはオンライン化されないといけないことは事実です。現時点ではなかなか難しいことではあるのですが、例えば修学旅行の本が必要だったとして、その本で調べ学習をしたときに修学旅行に関する本が1種類というわけではなくて何種類もあります。ある種類の本をある学校が5冊持っている、別の種類の本を別の学校が5冊持っている、オンラインで貸し借りできるようになると、修学旅行はそれぞれに時期が違うので必要な学校に1クラス分の本が集まり、違う時期にはその40冊が違う学校に集まることの実現され、1つの学校にたくさん本を集めなくても有効に活用できるシステムであり、違う地域でやっているところもたくさんあることを聞いているので、将来、所沢市でもそのようなことができるよとと考えています。

【質疑保留】

休 憩 (午前9時36分)

※参考人退室

再 開 (午前9時38分)

【質 疑】

川辺委員

現在雇用されている学校司書の雇用形態は正規か。非正規か。学校司書になるための条件や資格は必要か。

関根学校教育
部次長

資格は求めています。任用は会計年度任用職員です。

川辺委員

二校兼務の学校司書はどのようなシフト、勤務体制か。

関根学校教育
部次長

勤務日数は週5日です。週3日行く学校と週2日行く学校で分けています。

川辺委員

曜日を交互に変えることや、平均して行くための工夫はしているか。

関根学校教育
部次長

兼務している2校で勤務日を決めています。月水金と火木であったり、月火水と木金であったりなど組み合わせについては2校で決めています。

川辺委員

本の管理はデータ化されているか。

関根学校教育
部次長

まだ全てがデータ化されているか確認はできていないのですが、バーコード管理の学校もかなり進んでいる現状です。

川辺委員	バーコードやパソコンでデータ化されている部分はどれぐらいか。
関根学校教育 部次長	現状がこの数字かどうかわかりませんが、把握しているところでは中学校が6校、小学校が10校はバーコード、データ化されているととらえています。
浅野委員	二校兼務だが小学校にも学校司書が配置されて進歩した。現在は13名だが、1校にひとりずつ徐々に配置する目標はあるか。2校に一人で止めるのか。コロナ禍でギガスクールを進めなくてはいけないなどのいろいろな問題が出てきたので、学校司書については足踏み状態か。学校教育部の展望は。
関根学校教育 部次長	学校司書が入ってくださることは、学校としては大変ありがたく、図書館や蔵書が整理されて、大変効果的です。二校兼務とは言っても全ての学校に入ったので、大変有効に活用されていると聞いています。今後を考えると、令和2年度から全校配置が叶ったので、まずその活用度を検討していくことが重要だと思っています。コロナ禍やICTを進める現状もあるので、いていただくことは大変ありがたい現状ですが、増員となるとICTの関係や相談室の関係や個別支援なども必要なので、それらも検討しながら考えていかなければならないと認識しています。

荻野委員	資格を持つ方はどれぐらいか。
関根学校教育 部次長	12名と把握しています。
荻野委員	待遇について具体的に、時給が幾らで、勤務時間はどれぐらいか。
関根学校教育 部次長	勤務日数は週5日、年間205日、勤務時間は1日4時間としています。 時給は990円から1,150円までの間となっています。
荻野委員	平均して一人当たりの人件費はどれぐらいかかっているか。
関根学校教育 部次長	年間約92万円です。
荻野委員	ある程度のスキルが必要かと思うが、スキルがある方を採用することは難しいかもしれない。仮に予算がついた場合は問題なく、そのような人材を確保できる見通しはあるか。
関根学校教育 部次長	現在も教員免許をお持ちの方や幼児教育の経験を持っている方もいます。もし、これから任用を増やす場合にはそのような方がいらっしゃれば、

	応募もあるかもしれませんが、必ずとは何とも言えません。
荻野委員	図書館ボランティアが役割を補完しているようだが、実態は。
関根学校教育 部次長	現在も各学校ではボランティアが活発に活動しています。図書室の整備 や蔵書の管理等についても力をいただいています。
粕谷委員	5つの小学校は各校1名で、26校が兼務だがその理由は。
関根学校教育 部次長	単独で配置している5校については、児童数によって配置を決定してい ます。
入沢委員	一人当たりの人件費が約92万円とのことだが、14人増やすとなれば 予算はその14倍か。
関根学校教育 部次長	約92万円かける14名分に交通費等、費用弁償が加わります。
入沢委員	これから予算にICTや相談室や個別支援がかかるとのことだが、具体 的には。

関根 学校教育
部次長 特別支援教育支援員については、各学級で個別の支援をしていますが、50人ほど配置しています。ニーズとして複数配置を考えていけば当然にありがたいわけで、スクールカウンセラーも現在よりも増員できればありがたいと、相談室の相談員も小学校は兼務している現状なので、そうしたところを考えていかなければいけません。

入沢委員 県内で1校に一人を配置している基礎自治体はあるか。

関根 学校教育
部次長 近隣市ですと、例えば富士見市、飯能市は1校に一人ついているのですが、勤務日数は週2日や週3日なので、所沢市と大きく変わる状態ではありません。さいたま市は各校一人で週4日、1日6時間の勤務体制です。

入沢委員 都県境であり、高所得世帯が多く、教育的なものに関心を持つ保護者が多いと言われている戸田市や和光市はいかがか。

関根 学校教育
部次長 両市とも1校に一人配置しています。和光市は週2日、戸田市は週3日の勤務体系になっています。

植竹委員 第2次所沢市子どもの読書活動推進計画では、学校図書館の利用促進のために市内の小学校全校に学校司書を配置することが重要だと課題認識されていたが、第3次計画では学校司書の配置についてどのように位置付

	けているか。
関根学校教育 部次長	現状のように全校配置を進めていくわけですが、様子を見ていくと位置付けています。
植竹委員	現在の計画においては学校司書の配置は市内の全小学校に配置すると位置付けられていると認識してよいか。
関根学校教育 部次長	現状で配置が済んでいるので、現状維持していくことになります。
植竹委員	3次計画では、そのうち全校一人配置と認識してよいか。
関根学校教育 部次長	各学校に配置ということですが、各学校1名という形とは定めておりません。
植竹委員	計画に基づいた学校司書の研修は一切行われていないのか。
関根学校教育 部次長	4月に1回と2学期にオンデマンドで研修を考えています。

荻野委員	<p>請願の資料で兼任だと不都合なことがあったが、このことについての教育委員会の認識は。</p>
<p>関根学校教育 部次長</p>	<p>兼務することでやるが増えることはあるかと思います。一方で、大変ではあるのですが、そろっていく部分、共通していく部分、共有されていく部分もあるととらえています。そのことも含めて検証しなければいけないと考えています。</p>
荻野委員	<p>教育委員会は資料4の全てに賛同するわけではないということか。</p>
<p>関根学校教育 部次長</p>	<p>2校分の作業を考えなければいけない負荷はあると思っていますので、全てではないですが、そのような部分と共通されていく部分、共有されていく部分を検証して、確かめていく必要があると思っています。</p>
浅野委員	<p>岡山市を視察した際に、学校図書館を回る市の車があって、ある学校のAという本を欲しいからと言って、Cの学校に運ぶ機能があって、一つの学校で何冊もそろえないでも機能していることを聞いた。所沢市ではAの本を自分の学校ではクラスの35名に一人一冊見せるには足りないから、Cの学校から10冊借りたいという機能はあるか。</p>
関根学校教育	<p>所沢図書館分館から必要な本を希望すると持ってきて、回収もするシス</p>

部次長

テムがあります。学校間についてももし必要があれば、近隣の学校に相談して、ないかどうか確かめて集めることもあります。修学旅行等の冊子になると多少時期はずれますが、小学校では9月が多いとなると必要な本が同じになるということもあります。そのことも含めて市立図書館に協力を依頼することや、近隣の学校とやり取りすることはあります。

浅野委員

自分の学校の図書を増やしたいから、図書館に依頼することや他校に依頼することは司書の役目か。司書がいないと予約したものがすぐに来ても受け取れないなどの表現があるが、司書が2校に一人でもスムーズにほかの先生が受け取るのか。司書が絶対に窓口にならなければいけないのか。

関根学校教育
部次長

特に小学校について、学校図書館部という組織もあるので、学校図書館を担当している教員や、学校司書が窓口になっているケースもあると思います。必ずしも学校司書が窓口になっているわけではありません。修学旅行であれば6年生が学校図書館部に依頼して、そこから連絡を入れることもあります。地域学習では小学3年生がたくさんの地域図書を必要とするのですが、そのことについても図書館分館に依頼することも多々あります。

粕谷委員

小学校の図書館の利用率は。

関根学校教育 部次長	貸出数は学校で分かると思いますが、利用率としては把握していません。
粕谷委員	小中学生は本に触れることが大切だが、現在二校兼務で司書がいるが、利用率は司書を配置することでどうなるのか。現状のままなのか。そんなに変わらないのか。
関根学校教育 部次長	利用率、利用数については正直に言うと、昨年度から今年度についてはコロナ禍でしたので数字は減っています。そこは差し引いて考えなければいけないのですが、蔵書の整備については司書を配置することで進んでいます。
粕谷委員	蔵書の整備は二校兼務でも十分補っているという考えか。
関根学校教育 部次長	十分かどうかはなかなか計ることはできませんが、効果はあります。もし専任で配置になれば、さらに効果があるのかもしれない。そのことについて検証できていませんが、効果はあると考えます。
川辺委員	最大の児童数と最小の児童数は。
関根学校教育	一番多い学校は所沢小学校で、1,057人です。一番少ない学校は並

部次長	木小学校で204人です。
川辺委員	人数に差があって驚いたが、配置に当たって児童数を考慮しているか。
関根 学校教育 部次長	配置については児童数の多い5校です。児童数は変動するものなので、3年間の児童数の予測を基に専任と兼務の配置を見直して、3年ごとに更新しています。
植竹委員	計画の中で平成29年度の図書館の利用率は中学校で一番低く示されている。学校司書が全校に配置されながら利用率が低いことについて、司書の配置の効果をどのように考えているか。
関根 学校教育 部次長	数字に反映しているかどうかはなかなか難しいのかもしれませんが、実際に中学校に行くと、図書室がきれいに整備されています。そこに入るとすぐに本に触れるような雰囲気を醸して、本を開いて置いてあったり、おすすめの本のコーナーが整備されていたりと、読書に興味をもって いる子にとってはもちろんですが、もしかしたら好きになるかもしれない子が本の世界の中に入り込めるような雰囲気が各中学校にできていることが大きな効果だと思っています。
植竹委員	情報端末を一人1台持つような時代で、読む力の向上は必要で、兼務で

はあるが全校に配置されていて、今後司書を配置していく上で教育委員会
はどのような効果を求めているか。

関根学校教育
部次長 中学校の例で申し上げたような活字に触れる、紙の本に触れることに興
味、関心を維持あるいは導くような効果を期待したいです。本に触れるこ
と、その中で子供たちの豊かな心が育まれると思うので、そうした効果を
期待したいと常に思っています。

植竹委員 各小学校の学校司書の配置については増員して配置していくと認識し
てよいか。

関根学校教育
部次長 増員については他の支援員や体制もあるので、何とも申し上げることは
難しいのですが、配置は継続して、ボランティアの協力もあるので、そう
いった体制で何ができるか見ていく必要があると思います。

矢作委員長 この際、委員として質疑したいので、副委員長と交代します。

天野副委員長 それでは、委員長の職務を行います。

矢作委員 学校司書がいることで、学校に必要な本の配置ができるとのことだがい
かがか。

不登校がちな子供への支援も効果として期待できるそうだがいかがか。

関根学校教育
部次長

学校を休みがちな子供たちが図書室で本に触れることで、学校とつながり、居場所になることは十分に考えられると思います。その時に学校司書が力を発揮することもあれば、相談員が図書室の本の中でこのようなものもあると紹介することもあると思います。

蔵書については司書が必要なものを検討して、学校と協議して、蔵書を増やすことになると思いますが、学校の中にも図書館部があり、その中で何が必要か検討して、学校の中で本を購入するシステムもあるので、司書がいることでより充実する、本当に必要なものが選定される効果があると思います。学校の中でもそういった組織はあります。

【質疑終結】

休 憩 (午前10時11分)

再 開 (午前11時55分)

【意 見】

天野委員

立憲民主党・無所属の会を代表いたしまして、意見を申し上げさせていただきます。

継続審査を要求させていただきます。

理由のほうは、今回いろんな質疑等々しましたけれども、もう少しじっくりと議論を深めて、その上で採択という方がよろしいかと思い、継続審

査を主張させていただきます。

【意見終結】

【採 決】

請願第2号については、全会一致、継続審査すべきものと決する。

荻野委員

確認だが、請願は継続になったが、今日、参考人と執行部、教育委員会の話を聞いて、だいぶ状況が分かったが、本来であれば現状に関する資料とかを事前にご用意いただきたかった。できれば、閉会中の審査の前に改めて整えていただきたい。というのは、平成22年6月の請願の時の会議録を見たが、その時も学校の蔵書数などの資料を当時の菅原委員が要求して、平井委員も図書館の延べ利用者数や利用日数などの質疑もされているので、その辺を踏まえてお願いしたいと思っている。その辺は委員長は当時の請願の会議録などを確認されたか。

矢作委員長

会議録までは確認していない。今、ご提案いただいたので、何か皆さんから意見があれば、その旨伝えて、資料は用意していただくようにできると思う。

荻野委員

請願審査に当たって、今回は特にその辺は検討もされなかったのか。

矢作委員長

今回は紹介議員が全会派から出ていたので、概ねその点については了承

されているのかなと思い、そこまで踏み込んでいなかった。準備はしたい。

荻野委員

せっかく継続になったので、ぜひよろしくお願いします。

矢作委員長

承知した。

○閉会中の継続審査申出の件について（特定事件）

閉会中の継続審査申出の件については、別紙の内容で申出を行うことと
決定した。

散 会 （正午）